



The Japan Automobile Maintenance Colleges Association



No.16

1998年1月1日

発行 全国自動車整備専門学校協会  
 協会事務局 〒160 東京都新宿区大京町31  
 ヴィップ新宿御苑 ☎03-3356-7066  
 編集事務局 〒125 東京都葛飾区西亀有3-28-3  
 ☎03-3601-2535 FAX03-3601-2988

# 整備士の国際資格と就職

中央自動車技術専門学校理事長・校長 廣川 萬里  
 全国自動車整備専門学校協会理事

本校ではイギリスの整備士国家資格が取得できる留学制度をもっています。

NVQ (National Vocational Qualification) といって、職業全般にわたって実施されているもので、EU加盟国の共同資格にもなっています。本校が取得できるものは、自動車整備部門 (Light Vehicles Level 2) です。

本来これを取得した者は、イギリスもしくはEU加盟国で就職出来るはずなのですが、現状は自国の失業者が多く、他国籍者は就職できない状況です。それで、取得者の就職先をオーストラリアに求めたく、10月中旬シドニーを訪問しました。

## オーストラリアで

最初に訪問したところは、ニューサウスウェールズの州自動車整備振興会と言うべきところです。会長のトニー・セルメス氏にお会いしたのですが (この方には3年前日本で開かれた車体の世界会議で演壇におられたオーストラリア人、というだけで面会を申し入れたのです) 大変気さくな方で好意的に対応して下さいましたが、残念な事にオーストラリアの景気は良くなく、日本人技術者の受け入れは積極的には行いづらい環境にあるとの事でした。

しかし、同席された整備技術部門



のチーフのフィリップ・J・ブラウン氏に、オーストラリアの整備技術項目とNVQの項目のチェックをするように指示され、それを修得した技術者の就職広告を機関誌「The MTA Journal」に掲載して下さいとの約束を頂きました。

次に、オーストラリア三菱の大手ディーラー「ノースショア三菱」の社長ケーン・ボーカー氏やサービスマネジャーのグラハムステイス氏にお会いしましたが、ここはオーストラリアでも売上台数がトップクラスで、NVQ取得技術者なら大歓迎とのこと。ここではオーストラリアの整備技術項目は関係ないようでした。

その他訪問した「チャックウッドトヨタ」「シティフォード」でも、仕事が出来ればオーケー、とのことでした。

NVQ制度は、日本ではほとんど知られていないようですが、英語圏の国では皆さん知っておられ、その

普遍性と、もう一つは取得認定の仕方 (NVQは学科試験ではなく修理工場=ガレージでアシスタントとして働きながら技術を修得し、実際に出来るようになったことを証明してもらう制度) の違いによって、NVQ取得者は、即戦力として容易に受け入れオーケーの返事を頂けたものと思います。

## ワーキングホリデー利用

実際の就職に当たっては、ワーキングホリデーを利用し (1か所、3か月以内で1年間有効) いわゆる企業とのお見合い期間を経て、双方合意出来る企業に本就職させたいと考えています。

今回のオーストラリア訪問で「技術に国境はない」、また、不景気とはいえ「技術は強し」の意を強くして帰って参りました。ここに、我々自動車整備専門学校の教育の力点があると思います。これらを踏まえ、本校でもさらに充実した技術教育を実施したいと考えております。

## CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・留学生の就労問題
- 6面 協会トピックス
- 7面 新コーナー・活躍卒業生
- 8面 私の教授法・編集後記